

## 「先生のための夏休み経済教室 in 名古屋」記録

2017年8月21日（月）

<1時間目>Basic「新学習指導要領の考え方・教え方」講師：福井大学教授橋本康弘氏

- ・ 次期学習指導要領では、公民は100時間で行うのは変化なし。地理が減り歴史が増えたが社会科全体は変わらず。基本方針は「資質・能力」の一層の重視。「社会に開かれた教育課程」の重視。「資質・能力」の内容は、コンテンツベースからコンピテンシーベースへの転換を意味する。
- ・ 社会科での資質・能力を育てるには、多面的・多角的に考察する授業が必要になる。加えて構想する力を育成することが求められている。その内容は、課題解決に向けて選択・判断する力、説明、議論する力が求められるということである。言語活動のなかに議論し、自他の意見を成長させ、合意形成する力が求められている。ツールミン図式に出てくるような内容を求められている。中学校ではこの図式が作れるようになればよい。この図式を活用できる、そのなかの条件を吟味するのは高校「公共」での課題となろう。その意味では、中学の高校の連携による分担と分けが必要になる。
- ・ 社会科は内容ベースで議論する力が求められる。その内容は「見方・考え方」から行うことが求められる。それは二つの柱、従来の見方や考え方（概念を知ること）、に加えて道具として使える（社会的課題を解決するために使う）ことの二つの育成が求められる。前者の、概念を使って考察・構想するための視点や方法はすでに平成20年版で導入されていた。それが「対立と合意、効率と公正」である。今回はそれを充実させている。
- ・ 今回は、いままでの概念に加えて、私流に言えば「特出し概念（分業と交換、希少性、個人の尊重と法の支配、協調、持続可能性など）」が設定されていて、これらを活用した学習が求められる。今回は、習得してから活用だけではなく、活用しながら習得させることを目指している。これが平成20年版との違いである。
- ・ では、どのように育成したらよいか。それを「主体的・対話的で深い学び」で整理した。中教審ではアクティブ・ラーニングという言葉だったが、法令審査上通らないので上記の言葉となった。それは社会科ではどのようになるのか。
- ・ 中学校はすでにALに近い内容は取り組んでいた。今回の改訂のターゲットは高校であった。だから「歴史総合」、「地理総合」が出てきた。「公共」が出てきた。
- ・ 見方・考え方のなかの「効率と公正」の例でいえば、これまでの説明では活用できなかった。それで解説を~~変えた~~に新たな文言を付け加えた。効率と公正に関して指導要領の解説が次のようになっている。（その部分略）。事例では、みかんの分け方の例。効率では回転寿司の例。対立と合意では駐輪場の例などが考えられる。
- ・ 分業と交換では、パンやと農業の関係の例がある。希少性に関しては小遣いと購入の間

題が扱われている。ただし、このような場合は事象にあてはめて理解されていることが必要だが、えてして言葉の暗記なりがちで、そうならないか心配である。あくまでも事例に基づいて理解させることが必要になる。

- ・ 新学習指導要領の趣旨を生かした授業事例を紹介する。全5次の授業。第1次で国や地方公共団体の役割を確認、第2次で財政の特色をグラフをもとに理解する。第3次で日本の社会保障、公害について考察する。第4次で環境税の導入の是非、メリットを多面的に考察する、最後の第5次で環境税のよりより税負担について考察する。
- ・ この事例が完全に素晴らしいということではないが、使えてはじめて定着することを力説しておきたい。

### 質疑応答

質問 効率と公正の授業実践は難しい。ペーパーテストでこの単元で評価の方法は？（大府中清水）

回答 評価をどうするか、テストでどうするかが問題である。

言葉の習得だけでは不十分で、あなたにとって効率と公正はどうか等を問う問題が必要である。

教員間で効率と公正を考えさせる教材を共有し事例を集めたい。

質問 正答（＝正しい答え）をどう考える（作る）か。考査で○×をづけるときに困る。（同）

回答 効率は簡単だが…。 公正は難しい。

資料を複数出すと良いのではないかと 資料をいくつか入れて、ダミー（＝正答を導き出せない資料）を入れる。

### <2時間目>「新学習指導要領に基づいた授業提案」

講師：目黒区立東山中学校 三枝利多氏

内容のメモは以下の通り。

どこに着目するのか（＝ターゲットをどこにするのか）。

（レジュメに沿いながら）学習展開例（例1）～（例4）

必然性が「世の中の仕組みが作られている」（←学習課題）

政治先習 経済先習でもどちら先でもできる。

例えば、経済活動の意義 分業と交換。

資質能力を高める活動型授業とは？

出会いの背景 レジュメの5ページ（1）～（5）を説明する

→三枝先生の開眼のきっかけとなった授業設計

「自由民権運動」（五日市憲法草案を題材にして）

→大日本帝国憲法や欧米の市民革命との違いを考えさせた。

「関東地方」「東京の首都機能移転に関するディベート」

「平安時代」「平安時代のまとめとして農民、武士、僧侶の立場に分けディスカッション」  
⇒主体的、対話的な学びがあれば、都立入試問題も正答がとれる

活動型授業を有効にするためには

「教えすぎない」設計（＝プランニング）時点が必要であり、実践はビデオに撮る。  
ワークシートを保存し、振り返りが欠かせない。

深い学びとさせるための実践 レジюме 7ページ～

→「サッカー場の利用スケジュール」

→立場の違う（1～7）視点から考えさせる実践である。

## 質疑応答

質問 深い学びには？

回答 生徒に根拠を持って考えさせる過程が大切だ。

<3時間目>「エコノミストと授業を作る」講師：名古屋市立はとり中学校 佐藤央隆氏

佐藤実践の紹介前に篠原代表から以下のようなコメントがあった。

佐藤実践の意義

中教審の答申を引用し説明

→主権者として求められる力

→社会的見方考え方

…考察したり…その解決に向けて構想したり…

→指導内容の示した方の改善

社会科の目標 次期中学校学習指導要領

→知識技能 思考力判断力表現力 態度の育成

歴史的分野の目標

…考察 …選択。判断 …説明 …議論

学習上の留意点

→公民的な分野との関連に配慮

経済に関する学習内容を歴史的分野で

→多角的多面的考察・構想。表現

主権者として求められる力の育成に資する

歴史的…「経済」に関する主な社会的事象

古代から現代までの上記の視点で

特にムスリム商人

佐藤先生の授業紹介の概観は以下の通りである。

7時間抜きの7時間目 45分1コマ

江戸時代の経済政策を比べよう

目標はレジュメにて

江戸幕府の政治改革三人の中心人物

→それぞれの経済政策を比較

(この授業までに江戸幕府の学習を終了している)

中心人物三人 徳川吉宗 田沼意次 松平定信

三人の武士・農民・商人の立場から考察させ、その影響について評価させる

→生徒に「なぜ」と問う 生徒は正解を求めようとし、なかなか意見を出さない

「どうしてそう思ったのか」と根拠を持って考えさせる実践を心がけている

単語では答える 出てきた単語を戻して再度考えさせている

三人の経済政策は一面的な内容は書かれているが、

教科書に書かれていない事実をどう引き出すか

「正解」「不正解」は問題ではない だれにどのように影響があったのか

→立場を具体的に示し、生徒に考えさせている

「考えられない」と生徒が発言

→佐藤先生はその理由を生徒に答えている

立場を変えてみれば経済政策に対して、異なった影響が出ていることを生徒に気づかせる

「プラス」と多くの生徒が答えるが、理由を言う生徒はあまり多くない

→先生がさらに説明を深化させ、経済政策を焦点化している

下を向いている生徒は正解をメモしているようだ

4つめの学び 吉宗 田沼 松平それぞれに適したキャッチフレーズを班に分かれ話しあい、まとめさせる

生徒のキャッチフレーズはレジュメ4ページにあり

5つ目の学び

三人の中で理想とするリーダーとは？

→合理的な意思決定や合意形成

圧倒的多数で吉宗が多かった 約60%←暴れん坊将軍は知らない世代

→教科書に書かれていない行間を読ませることが必要

本時の振り返り

レジュメ6ページ参照

→生徒の自由記述もあり 上記の同箇所

「教科書に書かれていない影響を考えるのが楽しい」は次の授業設計やその実践、生徒の深い学びや意欲につながるかも… (杉田コメント)

まとめ

生徒の関心は高かった 経済政策を多面的多角的に考察し自分がよいと考えるリーダーを

選択することができた（生徒）

→教員が考える評価は異なる ワークシートや発言等から総合的に評価している

問題点

説明 議論× 「どちらともいえない」が3割強、いた

→深い学びを授業実践できるようにしたい

篠原先生のコメントメモは以下のとおりである。

1点目

橋本先生の講義では学習指導要領の整理があった。

佐藤実践の意義がレジュメにある。できるだけ満たすように盛り込んだ教材である。

佐藤実践では何を学ぶのか 1つずつ検討させている。

学ぶ内容を具現化する際、学習指導要領のねらいが入っているかがカギである。

どう具体化し教材作りするかは教師の務めである。

2点目

教科書は本日話したような教材は出ないので、先生方の工夫が必要だ。

全国の先生が使える教材作りをしている。

名古屋部会は2か月に1回のペースで、椙山学園大学で開催している。

主権者教育について、大杉先生から課題を頂いた。

ネットワークの役割がある 特に主権者教育では経済的視点からの分析と政策選択が  
欠かせない。

→本当に大切なのは政策の判断能力が欠かせない。

→経済政策についての教材作りが出てきている。

12月27日「冬の経済教室」が、全公社研と共催で慶応で開催される予定

最後に具体的に佐藤実践で良かった部分を説明する。

事実に基づいてデータで決して思いつきではない。

3ページのレジュメがとても良い。

良い教材の条件…問題の発見能力→問題を分析できる能力→結果を出す

今日のまとめ方で三人の政策分析で考えさせる際、小さな指摘を1つ

→江戸時代の主権は幕府にあったことに注意すべきである。

為政者としての目的と現代の政策決定は異なるし、社会的状況も異なる。

→判断する際、社会的時代的背景が異なることは考えさせる過程で入れたい。

→何を教えるのか考えていかないと、いくらでも異なった目的（ねらい）外の学びとなる  
可能性がある。

キャッチフレーズだけではなく、定信の引き締めがむだ…は社会的におかしい。  
貯蓄が増える→モノは売れない→社会全体としてプラスマイナスどうか別問題である。

#### 質疑応答

質問 なぜアンケートに記名させたのか？（大府中清水）

江戸時代の政策分析→自分ならばもっと書かせる。ワークシートに書きすぎかと思う。

回答 記名させている。その理由として、年度初めに簡単な「自分を知ろうとするアンケート」をしている。記名式でアンケートで書かせているが、差異はほとんどない。

自由記述は自己評価の下に自由に書かせている

ワークシートでは毎回していない 地理では「観光大使になって、アピールしてみよう」  
や歴史ならば市民革命単元で学んだ内容を基盤にして、学んだ内容を活かした考えさせる  
授業設計を単元最後でおこなっている。

質問 アンケートで課題にした農民商人武士と立場で、生徒がどの程度立場を考えていた  
のか。

ねらいに対して意見を書かせた方が良いのではないか。（東京たねふじ）

回答 ワークシートで一人選択させ理由を書かせている。

ねらいに対してどう学んでいるのかどう理解しているのかを、ワークシートで様式をつ  
くっている。

#### <4 時間目> 公民教育の理解の仕方・教え方 同志社大学政策学部 野間敏克氏

講義内容は大阪会場に同じだが、野間教授の前までに語られた橋本先生、三枝先生の講  
義内容と関係づけながら進めた。

#### 質疑応答

質問 財政の授業で悩んでいる。資料から読み取らせて子どもに考えさせる授業を作っ  
ているが、ALにつながるようなプランはどんな内容が考えられるか。（東京たねふじ）

回答 配分の仕方を1つ入れて設計すれば良いと思うが。

2017年8月22日（火）

#### <1 時間目> 基礎から学ぶ株価 講師：東京証券取引所 鈴木深氏

東京 8/14 の報告参照

#### <2 時間目> 記念講演 「経済学から見たアメリカの指標」

講師：同志社大学経済学部 鹿野嘉昭氏

大阪 8/8 の報告参照

## 質疑応答

質問（杉田） 鹿野先生から予算措置は議会が決定するとの説明があったが、トランプ大統領が日々発信するツイッターを注目するより、下院上院の動きを注目したほうが良いのか。

東京経済教室にて、村田教授の講演で紹介された来年は「中間選挙」があり、トランプ大統領の政治姿勢にどんな影響や変化があると予想されるか。

回答 村田先生は専門家なので、彼のコメントや予測以上の内容は言える自信はないが、少なくとも今日の講義で話したように、議会との対応次第で彼の政治姿勢は変化する可能性があるので、注目していきたい。

<3 時間目> エコノミストと授業を作る 講師：都立府中東高等学校 埴枝里子氏  
コメント：慶應義塾大学商学部 加藤一誠氏

埴実践の紹介のメモは以下の通り。

（埴先生より）自己紹介

これまでの経済教室等の先生の実践発表紹介

先生の問題意識

生徒にとり社会が遠い存在である。

（では上記を受けて）先生の指導の目的は

→社会問題を「自分ごと」化し、自らの在り方生き方を考える生徒を育てる。

高等学校「政経」における比較優位の扱い

→学習指導要領の当該箇所を説明した。

本授業のねらいと実践の説明

府中東の地歴公民科カリキュラムを紹介した。

比較優位を理解させるために、「機会費用」概念を使用している。

授業実践の方法説明… I C T を使用して授業を展開

前提条件を確認して「比較優位」を実践

→前提条件…市場参加者 生産費用 選好

「比較優位」ワークシート ケース1 生徒は理解できたようである。

（問題は絶対優位&絶対劣位がある）ケース2 「ダメ漁師」「マルチ八百屋」

一般的（教科書的）にワインと毛織物を通じて実践

→人にも応用可能だと考えている。

どうして得をするの？ まとめ

比較優位のベースに機会費用あり

→交換は幸せを生む。

「比較優位」実践箇所

→授業計画を紹介（1学期）しながら

→毎年時事ネタ 生徒の実態に合わせて設計 臨機応変にワークシートを、クラスごとに改変させている。

実践を振り返って

スライドに沿った説明。スライドにない「見方考え方」の「同意不同意」研究（栗原久教授）紹介しながら、説明

**埴先生の実践に対する加藤教授のコメントメモは以下の通り。**

TPPは「同意不同意」では、北海道では不同意？

「政経」教科書で、比較優位の記述箇所を説明（清水 東書）

大谷選手（日ハム）は投手か打者か？

→「範囲の経済」…2つの経済

製品の質は同質という前提は？

→天然の魚 養殖の魚

→天然は高くても購入される

**<4時間目> 豊かさとGDP 講師：日本大学経済学部 小巻泰之氏**

東京 8/15 の報告参照

**質疑応答**

質問 沖縄のデータに興味がある。過疎問題で悩んでいる地域に赴任したが、どんどん過疎が進んでいる地域（京都美山町）はどうしたら良いのか。沖縄データを使えそうだと感じているが…資料の切り方は。（京都下村）

回答 美山と京丹後に出かけてきた。過疎で苦しむ地域の数字、データを出して使うべきである。所得水準はどうなっているのか。京都は京都指標を作成している。京都指標をなかなかくれない。

質問 三重県は地域格差が大きい。一口にいえないのでは？（三重の先生）

回答 三重県は南北格差が大きい。交通網格差が大きい。地域により結びつきが所得と異なる地域がある。

質問 政経の教科書ではNNWは十分役に立つのでは？

回答 GDPは質も入っている。計れない質が入る。

質問 統計を学ぶのに良い書籍を紹介してほしい。（杉田）

回答 佐藤朋彦『数字を追うな 統計を読み』日本経済新聞社をオススメしたい。著者は総務省統計局に勤務する人。具体的な作成過程やコラムなどもあり、平易な言葉で解説されている良書である。

記録と文責

千葉県立津田沼高等学校 杉田 孝之